

## プラント状況確認結果(平成25年7月23日～7月30日)

平成25年 7月 30日

福島県原子力安全対策課

○ 平成25年7月23日～7月30日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡はありませんでした。

7月22日に、東京電力から福島第一原子力発電所タービン建屋東側における放射性物質に汚染された地下水が海(発電所港湾内)に拡散(漏えい)していると考えられるとの報告を受けた事象について、県の対応は[こちら](#)をご参照ください。

また、4月5日に発生した地下貯水槽からの汚染水漏えい事象の経過の詳細と現況については、[こちら](#)をご参照ください。

### (1) プラント状況(7月30日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量 (m <sup>3</sup> /h)	4.3	5.3	5.5	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<a href="#">30.2</a>	<a href="#">41.6</a>	<a href="#">40.4</a>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )(A系)	1.75×10 <sup>-3</sup>	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.09	0.06	0.10	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	27.5	27.7	26.7	31

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

### (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(7月30日午前10時)

最小 2.7(MP-1)～最大 5.4(MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

### (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(7月29日採取分)

最小 検出限界未満(1～4号機取水口内北側(東波除堤北側)、6号機取水口前)～最大 64(4号機スクリーン(シルトフェンス内側)) Bq/l

### (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(7月29日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界未満

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は約1.4 Bq/l

### (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(7月29日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約2×10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

### (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(7月29日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機) ~ 最大 0.42(2号機) Bq/cm<sup>3</sup> ※検出限界値は約0.02 Bq/cm<sup>3</sup>

【参考事項】

- 7月23日 9時05分頃、3号機原子炉建屋5階中央部より湯気らしきものが漂っているのをカメラにて確認。プラント状況及びモニタリングポスト指示値に有意な変動はなく、13時30分から14時30分において湯気らしきものは確認されなかったことから停止したものと判断。また、7月24日4時15分頃及び7月25日7時30分頃、再度湯気らしきものが漂っているのをカメラにて確認。プラント状況及びモニタリングポスト指示値に有意な変動はない。
- 7月25日 10時16分、6号機において、非常用ディーゼル発電機の自動起動試験を行う際に、操作手順を誤り、原子炉の冷却が停止。12時06分に残留熱除去系を再起動し冷却が再開しました。

(問い合わせ 024-521-1917)